



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第6号
平成29年10月14日
校長 松丸 晴美

「三方よし」の精神で

日本の四季の魅力は様々ありますが、食や年中行事との結びつきの深さもそのひとつではないでしょうか？

今月4日の「中秋の名月」に当たる日の給食には「お月見献立」として、月見団子汁と栗ご飯がでました。この秋初の「栗」のほんのりした甘さを噛みしめながら、「ああ今日は十五夜なんだ」と気づかされました。おかげで退勤時に、一段と高くなった空に冴え冴えと輝く月を堪能しました。

宇宙船が月まで飛ぶような時代になりましたが、うさぎが餅つきをしているように見える月のイメージもなかなか捨てがたいものです。



さて、秋の大きな学校行事のひとつである修学旅行ですが、関西方面への修学旅行は、JR 東日本と中学校長会との協議により、修学旅行専用の料金と列車の提供を受けて実施しています。そのため2年前に申し込みと抽選が行われ、日程や宿舎が決定します。

2年前に計画された今年の3年生の修学旅行ですが、中学生には豪華すぎるのでは？と思える琵琶湖畔のホテルに宿泊し、1泊目の夕食はテーブルマナー講習を受けながらとりました。2泊目は、クルージング船に乗って、ビュッフェスタイルで食事をしたり、ショーや夜景を見たりと私にとっても初めての体験が満載でした。

テーブルマナー講習では、生徒一人一人が、一人前の大人のお客様として丁寧なサービ

スを受けながら、大変緊張して食事をしていました。フルコースディナーの食事のマナーなど、日頃の学校生活の中では学び得ない知識を得ることができ、貴重な経験になったと思います。加えて、ホテルやクルーザーの従業員の方々のプロの仕事ぶりを目の当たりにすることもでき、良いキャリア教育につながったと思います。私自身も、今まで誰にも聞けなかった食事のマナーについての疑問を解明できたり、教育活動の幅を広げるヒントを得たりと大変有意義な経験でした。



また、今回滋賀県に宿泊したことで、江戸時代から明治にかけて日本各地で活躍した「近江商人」についての知識も得ました。近江商人は、お客様の信用を得るために「買い手よし」「売り手よし」「世間よし」という「三方よし」の精神を大切にしたい商いをして、多くの人に喜ばれる商品を提供し続けたそうです。そして、「世間よし」として、商いで得た利益によって無償で橋をかけたり学校を建てるなど、今風に言えば「社会貢献」にも力を尽くしたそうです。

学校生活の中でも、この「三方よし」の精神は、「相手よし」「自分よし」「みんなよし」という言葉に置き換えられる大切な考え方だと思います。

生徒達には、相手の身になって考え行動する力の一層の向上を、私達教職員は、「生徒よし」「教職員よし」「学校よし」を常に基本に据えながら、「実りの秋」にふさわしい果実を実らせたいものです。

練馬区立中学校生徒海外派遣を体験して

7月22日～29日まで練馬区の姉妹都市であるオーストラリア、クーンズランド州イプスウィッチに行ってきた二人の生徒に感想を書いてもらいました。海外派遣報告会は、11月30日に関町小、12月5日に立野小、12月6日に石神井西小、12月11日に本校で開きます。

3年D組 熊谷 優将

海外派遣を通じて僕は今までもっていなかった考え方を身に付けることができました。ホストファミリーやイプスウィッチステートハイスクールの生徒たちは僕が理解できない言葉を一生懸命伝えようとしてくれたり、言いたいことをうまく伝えられない時も必死に理解しようとしてくれました。完璧に英語ができなくても、伝えようという意思があれば通じることができるのだと実感しました。また、学校ではたくさんの人が“Hello”と積極的に声をかけてくれてすぐに馴染むことができ、挨拶は大切なコミュニケーションだと改めて感じました。オーストラリアでは先生にも気軽に話しかけていてフレンドリーで良いなと思うと同時に、先生に対して礼をする礼儀正しさは日本の文化の良い所だと思いました。日本のアニメはオーストラリアでも人気で、仲良くなった友達とアニメについて話して盛り上がりました。日本の文化は海外でも人気なのだと再認識しました。



日本を出てオーストラリアで過ごす7日間は驚き・発見・挑戦の連続でした。海外派遣は異国の文化を知るとともに日本の良さも改めて感じることでできるとても素晴らしい日々でした。これまで支えてくれたホストファミリー・先生方・仲間、ありがとうございました。

2年F組 川田梨央

私は、この海外派遣を通してたくさんのことを学ぶことができました。オーストラリアに行く前の事前研修では、日本とオーストラリアについて調べ学習を通して学び、オーストラリアでは日本との文化の違いについて直接学ぶことができました。私にとってオーストラリア、ホームステイ、海外の学校、どれも初めてでわくわくとドキドキの一週間でした。初めての海外の学校は、授業の進め方や休み時間の過ごし方、チャイムの音など日本と違うことがたくさんあり、少し驚きました。日本とオーストラリアでは文化の違いがあるということは前から知っていたけれど、直接見たり、聞いたりするのは、とても面白かったです。また食べ物も、オーストラリアならではの味やにおいがあるのが楽しむことができました。ホストファミリーや、学校のお友達との会話は言葉の壁があり、聞き取れなかったり上手く伝えられなかったりしたけれど、伝えたいという気持ちがあればどんなことだって伝えることができました。



私は、この海外派遣を通してもっと海外について知りたいと思いました。この経験を、これからの生活に活かしていけたらいいなと思います。支えてくださった先生方、現地の方々、本当にありがとうございました。

「修学旅行」

3 学年主任 志村美智子

9月14日(木)から2泊3日で奈良・京都へ行きました。今年度は「マナー」に重点をおいた修学旅行を目指しました。義務教育が終わると社会人として働けるようになります。その義務教育の集大成として大人の階段を上るお手伝いをしたいと企画しました。

初日、奈良公園へ。大仏の大きさに驚き、鹿と楽しそうに戯れる生徒たちの姿がありました。次にバスで法隆寺へ移動。事後学習のために一生懸命写真を撮っている姿を見ました。そして、いよいよ琵琶湖ホテルへ。皇族の方々も利用するという湖畔に立つ由緒あるホテルです。ホテルスタッフたちに出



迎えられながらロビーへ入ると、高級感漂う吹き抜けのラウンジ、そしてクッションがたくさんあるソファではスーツを着た一般客がコーヒーを飲みながら打ち合せをしているという厳かな雰囲気の中、さすが石西中最上級生、自然と静かになり移動をすることができました。男子たちが小声で「こんなすごい所に泊まるのかよ！」と言っていたのが印象に残っています。また、部屋ではベッドも絨毯もふかふか、バスルームはシャワーカーテンではなくガラス張り、全室琵琶湖ビューという待遇に女子たちも「本当にこんなすごいところに泊まってもいいんですか!？」と興奮していました。多くの生徒たちが、靴とスリッパをきちんと揃えて部屋を裸足で歩いていたので、「部屋の絨毯の上は、土足だよ。」と教えると、「えっ!? こんな綺麗な絨毯の上を土足で歩いてもいいんですか?」と目をまるくして驚くという微笑ましい場面もありました。夕食は体験学習である「テーブルマナー」。本格的なフレンチのコース料理で、ひとつのテーブルに給仕さんが一人から二人つくという豪華なものでした。素晴らしい会場で恭しく料理を出してもらったりお皿を下げてもらったりと、生徒たちも緊張しながらも大人の顔つきで食べていました。

2日目、モーニングコールで6時に起床。晴れて朝焼けが美しく、琵琶湖がピンクから薄い紫のグラデーションに染まり素晴らしい景色でした。生徒たちの部屋へ行くと、支度を終え備え付けの紅茶を入れ、ベッドやソファに座って飲みながら優雅に景色を見ている生徒たちの姿が！生徒は環境に慣れるのが早いと思った瞬間でした。そして、いよいよ班行動で京都見学です。班にはシルバーガイドさんがついて行動しました。ガイドブックにも載っていないようなことを丁寧に教えてくれました。帰ってきたときのきらきらとした生徒たちの目や「楽しかったー!」という弾んだ声が良い経験になったことを物語っていました。夕食はディナークルーズでビュッフェ形式でした。お行儀よく列に並び食べる分だけ取り分けるなど、ご家庭でのしつけが垣間見えてきました。そして、自由時間はショー観賞と甲板に出での夜景観賞です。アメリカ人のマイケルさんが関西弁で面白おかしくマジックと歌を披露し、生徒たちもノリノリで大笑いしていました。甲板では噴水のライトアップや花火を見ることができ、大喜びでシャッターを切っていました。マイケルさんには「この学校の生徒さんはみんな優しい。とても気持ちよかったです。こちらも楽しかった。ありがとう!」と言われました。



最終日、台風が近づいているというわりには小雨だったのでホッとしました。雨の京都も素敵だし、タクシー行動なので支障がありませんでした。急な集合場所の変更も、生徒たちは場に応じて行動することができるようになっていました。京都駅には、関西に転校した加藤くんが来ていました。生徒たちは「加藤くん、大人っぽくなった!」と言っていましたが、加藤くんもみんなに対して同じことを言っていました。お互いに大人になったのだなと実感しました。

今回の修学旅行では、ご家庭の協力があってこそ成功でした。ある女子生徒が「大人になったら、もう一度行きたい。同じことを経験してみたい。今と大人になってからではどんなふうに自分の中で変わるのか知りたい。」と言っていました。生涯学習という言葉が私の頭の中に浮かび嬉しくなりました。

部活動表彰・個人表彰

乗馬

八ヶ丘ホースショー(7/22) 第6競技 小障害飛越競技 L級 アンナリーサ号と田中葉乃香

書写

第17回全国中学校総合文化祭神奈川大会に出展(全国中学校文化連盟主催)(8/17,18)鈴木結菜

水泳

第65回東京都中学校学年別水泳競技大会(9/10)

2年男子 50m 平泳ぎ 第1位 32秒05 新井俊平

陸上部

第69回武蔵野市民体育陸上競技大会(9/10)

女子中学砲丸投 第1位 8m21 中田 桜

女子中学砲丸投 第2位 8m00 石田菜々花

女子中学砲丸投 第3位 7m68 中山鈴菜

男子中学1年 100m 第3位 13秒37 飯高紘一郎

男子中学3年 100m 第2位 12秒91 西脇潮音

女子中学走幅跳 第2位 4m19 宮腰咲良

女子中学走高跳 第1位 1m25 鈴木 萌

女子中学走高跳 第3位 1m20 北川 祥

第29回東京都ジュニア陸上競技大会(9/9,10)

女子 A200m 第1位 25秒62 田中美亜

女子 ABC 4×100m 第4位 53秒06

高橋凜風、土倉凜々、大野真理、田中美亜

女子 C4×100m 第8位 56秒18

西田麻沙、中村愛花、渡邊凜織、上田彩月

男子 C 走幅跳 第5位 5m18 佐藤匠真

第54回東京スポーツ祭典陸上競技大会 10/1 (新日本スポーツ連盟東京ランニングクラブ主催)

女子 4×100m リレー 第3位 54秒60 伊藤美波、小川穂里、高木星音、窪田こころ

一般女子 800m 第1位 2分29秒85 窪田こころ

ソフトテニス部

第54回練馬区中学校生徒総合体育大会(9/18) ソフトテニス男子 第3位 佐藤・妹尾 組

卓球

第70回練馬区民体育大会卓球(中学生の部)(10/7,8)

女子団体 優勝、女子個人 第1位 吉岡桜子、第2位 川村碧子、第3位 岩崎 泉

連合陸上大会表彰(9/22)

~女子優勝!、男子第6位!、総合第3位!~

共通男子 400m 第7位 天野泰雅 59秒98	3年女子砲丸投 第4位 中田 桜 8m42
共通女子 200m 第1位 田中美亜 26秒09	3年女子走高跳 第3位 濱野愛梨 1m35
共通女子 200m 第6位 小川穂里 29秒22	3年女子 100m 第5位 大野真理 13秒61
共通女子 800m 第1位 窪田こころ 2分30秒82	3年女子 100m 第6位 土倉凜々 13秒69
2年男子 100m 第1位 秋山 陸 11秒80	1年男子走幅跳 第1位 佐藤匠真 5m08
2年男子 100m 第2位 藤村慶弥 11秒94	1年男子走幅跳 第5位 佐藤虹太郎 4m94
2年男子 1500m 第6位 道地涼介 4分36秒67	1年女子走幅跳 第5位 中村愛花 4m04
2年女子走幅跳 第2位 上松香凜 4m54	1年女子 100m 第2位 上田彩月 13秒48
共通女子 400mR 第1位 前田優依・土倉凜々・大野真理・田中美亜 52秒31	
2年男子 400mR 第1位 柳田大樹・藤村慶弥・秋山陸・下村健太 46秒67 (予選46秒01大会新)	
2年女子 400mR 第2位 伊藤美波・小川穂里・高木星音・窪田こころ 54秒05	
1年女子 400mR 第1位 西田麻沙・中村愛花・渡邊凜織・上田彩月 55秒64	